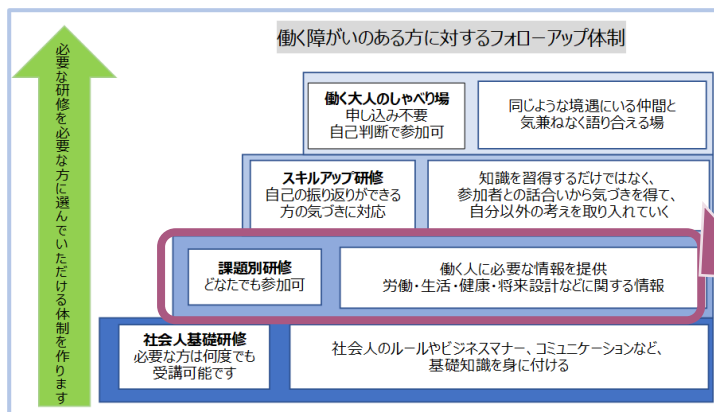


課題別

令和3年度 第2弾『在職者向け勉強会』

『生活していくために必要な“お金のやりくり”について考えよう!』が終了しました。



第1回目の課題別勉強会は、金銭管理について学び合いました。
以前から複数の企業のご担当者より「働くスキルだけでなく、お金について知る・学ぶ機会があると良い」「自分の収入に応じ、使い方について考えられる機会があったら良い」等のお声をいただいた経緯があり、社会人としての生活スキルにつながるテーマとして「お金のやりくり」を題材に開催しました。
今回は社会人経験の年数を問わず約20名の方にご参加いただけました。

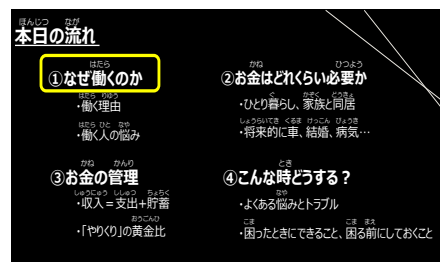
今回は、久しぶりの集合形式だったこともあり、この状況下であっても、直接会場に集まり意見交換していく機会を望む声が多く寄せられていました。そのため、それらの希望を受けて、緊急事態宣言の発令への配慮を行いながら、小グループで集まる形式をとり、3回に分けて実施いたしました。



□講義では…

“お金のやりくりについての基本的な考え方”や、“生活していくためにはどのくらいのお金が必要なのか”等について、一般的な例を基に紹介し、「なぜ、お金の管理に関わる力を身につけていく必要があるのか」について参加者の皆さんと考えていきました。

□グループワークでは…



計画的にやりくりをすることをさらに具体的にイメージしていくために、「『一人暮らしをしたい』という目標のために必要となるお金」を例に挙げ、具体的な費用や内訳、どのようなやりくりの工夫があると良いか等を参加者の皆さんと考えていきました。
参加者それぞれが今の生活の中で叶えたい目標等を共有し、どういう準備や計画が必要なのかを考える過程で、実際に一人暮らしをしている参加者から経験談をお話いただいたり、皆さんから挙げられた悩みへの意見を募る等、お互いに意見交換がし合える場になっていました。

障がいのあるなしに関わらず、安定した職業生活を送る上で、その土台となる生活の基盤が整っていることは大切なポイントです。今回の研修では、主に職場の人事担当の方からいただいた声を元に企画しましたが、その根底には生活面に不安を感じている従業員がいても、企業として私生活にどこまで踏み込んで良いのかという悩みがありました。特性上、先の見通しを立てることや、数字の計算が苦手なために金銭管理に対して苦手意識がある方もいらっしゃると思いますが、勉強会を通して、社会人として自分なりの責任を持って生活していくために、金銭管理への意識を持つことも大切だということを感じていただけた様です。
今回の様な学びの場を通して、改めて普段の生活を振り返る機会としたり、様々な方の話を聞くことを通して自分の将来について考えるきっかけとしてもご活用いただければと思います。



今年度の在職者向け研修会については、経験別・課題別にテーマを設け、必要な方に必要な会に参加していただけるよう、様々な立場の方からいただくお声を基に企画をしております。
次回以降も、経験の有無に限らず出てくる悩みや課題をピックアップし、研修に繋げてまいりたいと思いますので、ご意見・ご要望等をお寄せください。
コロナウイルスの拡大状況によって変更となる場合がございますが、次回は11月下旬に社会人基礎研修の第2回目を予定しております。
改めてご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。